

## 麻生自民・公明政権の「経済危機対策」

# 入り口は 選挙 目当ての バラマキ 出口は消費税大増税

麻生内閣が15兆円規模の「経済危機対策」を発表しました。いくつかの改善もありますが、結局は、「失敗」が試されずみの大企業応援型の対策です。これでは国民の暮らしも、経済の回復も見えてきません。いま必要なのは、国民のくらしをあたためることです。

### 15兆円の多くが、従来型の 大企業向け事業

こんどの「経済対策」は、高速道路、巨大港湾などの大型公共事業、公的資金で株式を買い取る「株価対策」など、相変わらずの従来型の大企業・大資産家へのばらまきです。これでは、庶民と中小企業にはお金が回ってきません。国民の需要回復にはつながらず、景気回復はとて見込めません。

### 2011年度から消費税の大増 税計画…庶民への打撃

「対策は」、大企業・大資産家向けに重点を置いた政策の財源を、すべて国民に負わせるものになっています。財源として10兆円の赤字国債を発行することとあわせ、その穴埋めのために2011年度からの消費税増税でまかなう考えも示しています。これではもっとも弱い立場の人への打撃となるだけです。

いま必要  
なことは

## 雇用を守り、社会保障を充実させ 中小企業・農家支援への転換こそ

### 日本共産党

世界に類をみない急激な「景気悪化」をつくりだしたのは、国民の暮らしを犠牲にして国民の需要を冷え込ませた結果です。

日本共産党は、家計をあたため、個人消費を増やすことが景気回復への一番の方策だと考えています。

今すすめられている大企業による労働者の解雇をただちにやめさせること、後期高齢者医療制度や障害者自立支援制度はただちに廃止すること、危機的状態にある中小企業や農家支援を思いきって強めること、消費税増税計画はキッパリやめて食料品など生活必需品を非課税にすることなど、従来の政策の大転換こそいま必要だと考えています。



---

日本共産党は「消費税増税反対・食料品非課税を求める」署名運動にとりくんでいます。ご協力ください。

---